

令和3年度

日本大学 学生 FD CHAmmit

第1&2回 スタッフミーティング報告書

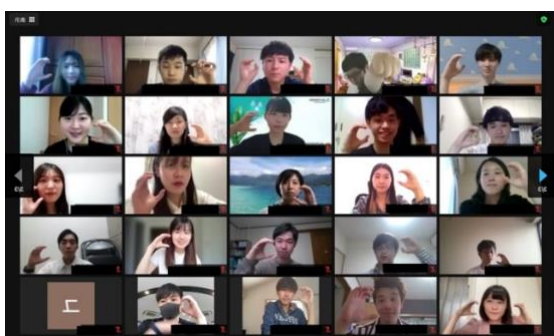


日本大学

日本大学学生 FD CHAmmit では、第 1 回スタッフミーティングを 6 月 19 日に開催し、『**アフターコロナでの学修スタイルはどうなって欲しい？**』について話し合いました。

そして、その結果を元に、7 月 3 日に開催した第 2 回のミーティングでは、『**オンライン授業の在り方～オンラインになっても大学に行くメリットは何だろう？～**』について、グループに分かれ Google Jamboard を使って話し合いました。

本報告書は、私たち学生の声を教職員の皆さんと共有する事で、日本大学の教育をより良いものにしたいという狙いの元に作成・公開しています。本報告書が学生・教職員双方にとって少しでも参考になれば幸いです。



学生目線

アフターコロナでの学修スタイルとは・・・？



● 対面授業とオンライン授業の両立

専門性の高い授業や実習などは対面で行う。

出席や課題提出はオンラインを活用。

オンラインと対面の自由選択制。

● オンラインでの他学部の授業の受講

● 録画授業の活用

巻き戻しや一時停止で調整できる。

試験前の学修に。

録画を倍速再生機能で、復習に回す時間を作る。

● zoom を活用したグループワークの展開

質問や疑問をそのままにしない。

学生の授業に対する関与度を向上させられる。

学生同士のディスカッションベースの授業。

● 授業・課題提出方法の一元化

提出形式の統一、サイトの統一。

● インターネット環境の大学側による施設整備

サテライトキャンパスの設立

● 学生間のコミュニケーション

学部を超えた交流

従来の対面授業の再開のみならず、コロナ禍において普及したオンライン形式の授業のメリットを最大限活用した、ハイブリッド型の授業を希望する意見が多く上がりました。

教員目線



- 他学部履修
- 授業のライブラー化
- オンラインでも教えている時の反応が見る事ができる
- フィードバック・コメント機能の活用
- ネット環境が不安定でも見返しが可能
- 休講時にアーカイブとして配信可能
- 補助教材として活用

「学生目線」同様、オンライン授業の継続的な活用した授業展開に関する意見が多く寄せられました。

大学のキャンパスに行くメリットとは？

- 学生間の交流・人脈を広げる
- 大学施設の活用
- オンラインとのメリハリ
- 付加価値

コロナ禍において、多くの授業がオンライン化されました。オンライン授業は対面授業の単なる代替手段ではなく、オンライン授業ならではのメリットがあることに多くの方が気づきました。ポストコロナ時代においては、従来の対面授業の復活とともに、こうしたオンライン授業のメリットを継続して活かしながら、両者の「いいとこどり」や併用を望む意見が多くみられました。また現行のオンライン授業における課題を見いだしており、これらの改善を望む声も多くみられています。

大学のキャンパスに行く価値については、

- 教授陣とのコミュニケーションによる、授業外での知識習得
- 大学の施設設備を活かした授業や、研究の実施
- 同じ目標をもった仲間との交流
- コミュニケーション能力の向上

など、様々な意見が挙げられました。

次回はこれらの意見を元に、ポストコロナ時代における、**日大だからできること**をより詳細に議論していきます。

